

続き ↓

石 どの世代もそうかもしれないけど、「自分を大切にすること」ってすごく重要。産まれた時、「あなたはみんなが待ち望んで生まれてきたんだよ！」って伝えられるのが性教育かなと思っています。子どもは大きくなるまで、自分の大切さなんて考えないかもしれない。「本当に望まれて産まれてきて、みんな大切な命なんだよ」というのを知ってほしい。

岡 助産師でしか伝えられないことがあるんです。

石 男の子にもあなたを待ってて産まれてきたから、あなたも次は命のバトンを繋いでほしいし、自分の体も、相手の体も大切にしないといけない！

岡 お母さんがどれだけ大変な思いをして産まれてきたかということ伝えて、命の大切さをそこで知ってもらおう。みんな目を輝かせて聞いていますよ。本格的な性教育になるとみんな下を向いてしまうけど...

石 でも、耳は聞きたいはず。聞きたい年頃ではある。SNSなどで色々な情報があるけれど、正しい情報を隠さずに伝えることが一番いい。隠すからみんな知りたがるし、どんなものかを「知ること」が大切だと思います。

助産師さんが教える性教育って？

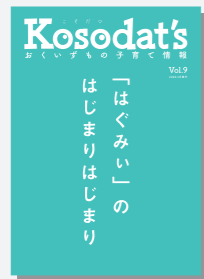
石 鳥根県助産師会のバースディプロジェクトという組織があり、学校の性教育カリキュラムを助産師の私たちで行っています。私は妊婦役で登場（仕込みでお腹を大きくして）。子どもたちの視線が集中しているところで、「お腹が痛くなってきたっ」と言うと、教室中がえっ！？って混乱するんですが、最後産まれそうな時は、みんなが頑張れて本気で応援してくれるんです。誕生日はお祝いしてもらおう日でもあり、逆にお母さん、お父さんに産んでくれてありがとうと言う日でもあると教えています。

ゴッドハンド！？

赤ちゃん訪問で、おっぱいが痛いというお母さんに、岡田さんがその場でマッサージをしたら、すごく楽になった！というお話を聞きました。

岡 ゴッドハンドだなんて...でも、実際に喜んでいただいた人の声がきけて、うれしいです。他にもマッサージの達人はいますよ。

最近、産後のケアが充実してきたので、保健師さんとタッグを組んで産後訪問だったり、色々な相談にのる機会が増えてます！



「産後ケア」の詳細は、前回のKosodat's-Vol.9を見てね！



秋のイベントスケジュール

2020年9月15日現在

屋内型子どものあそび場 第1回イベント

日	時	①10月11日(日) / 9:30~11:30
		② " / 13:30~15:30
場	所	鳥上幼稚園 (休園中)
申	込	み 事前に申し込みが必要
お	問	い 合わせ (株)OKU-Reno. ☎050-5213-2378

詳しくは幼稚園から配布されるチラシや町のホームページをご覧ください。

産後ヨガ

日	時	11月13日(金) / 9:45~11:30
場	所	仁多子育て支援センター
参	加	費 無料
お	問	い 合わせ 仁多子育て支援センター ☎54-0200

※イベントスケジュールは新型コロナウイルス感染拡大状況により、中止・変更になる場合があります。

私
た
ち
ら
し
さ



助産師外来「はぐくみ」について

Q 「はぐくみ」ってなんですか？

妊娠中の診察や赤ちゃんの様子を助産師が単独で診る外来です。

また、妊娠中に限らず産後の育児相談なども行なっています。妊婦健診は基本的に医師が行いますが、32週と37週は助産師目線での健診をします。また、産後1ヶ月間は不安が一番大きい時期なので、産後2週間健診を始めました。今までは1ヶ月健診しかなかったのですが、産後2週間のところで1度来院いただきます。健診では、お母さんの体調や赤ちゃんの様子、授乳や育児状況の確認・相談を受けています。

Q 「はぐくみ」の強みは？

「エコーも長く見れるっ!」

普通の健診よりもゆっくり時間を使ってお話を聞かせていただきます。「話しやすい環境作り」を心がけて、明るく笑顔がモットーです。遠慮せずに何でも相談して下さい。皆さんの妊娠、産後の心強い味方になります。また、育児はすぐに解決できる問題が少ないと思います。大きい病院に比べたら、担当が変わることはないの、解決するため一緒に悩んだり、提案する事ができます。1人1人へのオリジナルなサポート体制が強みです。

Q 利用方法は？

母子健康手帳交付時にお渡しします!

公費負担
妊婦一般健康診査受診票を
ご利用いただけます!

妊婦健診

医師の許可が出たら、32週と37週の予約をとることができます。

産後2週間健診

退院される時に予約をお取りします。 ※受診票がない方は ¥5,000 (非課税)

育児相談

希望のお母さんは電話予約をしてください。 ¥1,650 (税込)

ご予約・お問い合わせ

奥出雲病院 3階病棟 / 助産師 >>> ☎ 54-2773

私たちを知って、もっと身近に。
安心して利用してもらいたい。



岡田 助産師

子どもに影響されて、すっかり鉄道好きに。山手線が大好きです。

石原 助産師

美味しいものを食べに行くことが好きです。

助産師を目指したきっかけは何ですか？

岡 小学生くらいの時に、テレビでお産のドキュメンタリーを見て…もうそれだけです。「すごい!こんな仕事があるんだ!」と。産まれる瞬間に立ち会えるって、すごく素敵だあって漠然と思いました。かつ、看護学校時代に、自分の産まれた所、生まれ育った町で、いつか働きたいと思っていたので、自分の取り上げた赤ちゃんが成長していく姿が見られたら素敵だなと。

石 看護学校の実習で、分娩がどんなものか分からない時に初めてお産分娩を見学しました。「お母さんも頑張るけど、赤ちゃんも一緒に頑張ってるんだ!」ってそれがすごくよくわかりました。緊張感のある空気の中で、産まれた瞬間、泣いた瞬間にみんなが「おめでとう」と、緊張の糸がほぐれてハッピーな場になるのを見て、すごくいい仕事だなと思いました。それがこの仕事に携わりたと思ったきっかけです。独特な雰囲気です。お産って。本当に。

仕事のやりがいは何ですか？

石 元気に産まれる様にサポートするのは、とても神経を使います。何より元気で産まれてきてもらわないといけない中で、ビリビリした気持ちになったりするけど、そこで元気に「ギャー!」っと泣いてくれた時が、大変だけど1番いいなあと思う瞬間です。そこでアドレナリンが出るのでしょね。それが忘れられないから、この仕事をしていてよかったなって思います。産

まれたらお母さんは笑顔で家族もみんな喜ぶというところが魅力的です。

岡 3年前くらいから講師として中学3年生の性教育に行くようになりました。学校の先生は保健指導はされても、やはり細かい性教育は難しいので…去年の3年生がちょうど私がここにきて助産師になって取り上げた子ども達だったんです。「遂にこの日がやってきた!」と。取り上げた子どもが成長して、私が性教育をするという、この不思議さがなんか嬉しかったです。生徒の中に私の取り上げた第1号がいたんです。「私の取り上げ第1号!いるんだよ」って言ったらザワザワして。「名前言っていいですか?」って確認して名前を言ったら、ビックリしてて。「あなたを取り上げられたこと、私は一生忘れません。」と伝えました。その場でそういった話ができただけが、なんか嬉しくて…命のバトンをつないでいる感じが。そのうちその子どもたちも出産するようになる。

石 それを支えることができるのが助産師の仕事。妊婦さんだけじゃなくて。

岡 実は周産期、赤ちゃんとか出産だけでなく女性の一生を支える仕事なんです。だから、子どもたちに性教育をしたり、女性の更年期、お産された女性のサポートができるのが助産師なのです。そうやって思うと、命のバトンというか…0歳~100歳まで。

「はぐくみ」にはこんな人が待っています。